

# 2021 年度事業報告書

## 1、『公益目的事業』

### (1)地域におけるセーリングスポーツ・レクリエーション活動による育成普及と振興事業

- ① 地域でのセーリング教室、海洋教室への協力(呉市海洋教室、福山市民レガッタ) (実施せず)
- ② 広島セーリングスクールの円滑な運営と新規会員の増強を目的とした体験会の実施  
→(ジュニア選手を対象とした体験会を実施)6/6, 6/13, 7/4 合計 15 名参加
- ③ 企業、学校等を対象としたセーリング体験会(レクリエーション)の実施 →実施せず
- ④ 各所属団体のOBを対象とした「ハンザOB戦」を実施して会員の増強の促進 →実施せず

### (2)障がい者を含むセーリングスポーツ・レクリエーション活動による育成普及と振興事業

- ① 障がい者試乗会(広島市心身障害者福祉センターなど) →一部実施した
- ② 各地のハンザ大会等に参加し、各地域の仲間と交流を図り自立をめざす→主催者が中止のため参加できず
- ③ ハンザやOPを使用し練習会等を通じて障がい者を含むセーリングの普及を行う→一部実施した

### (3)安全活動推進事業

- ① 安全講習会の実施(メンバーズミーティング)  
→4月4日(日)10時～11時半、広島観音マリーナクラブハウス(セミナールーム)に於いて、密集回避 30 名限定(各チーム 2 名・指導者とチーム代表)で開催。  
・会長挨拶、年度方針説明(専務理事)、救急教室(心肺蘇生法、AED の使い方、広島市西消防署救急係)
- ② 救助艇の運行方法の講習と管理指導 →メンバーズミーティングにて実施
- ③ 台風等、自然災害に対する指導 →メンバーズミーティングにて実施
- ④ 救急救命、AED 講習会の実施 →メンバーズミーティングにて実施

### (4)マリーナ利用事業 (関連施設等の運営に対する援助及び参画事業)

- ① 施設の備品、消耗品の充当 →随時実施
- ② 海洋気象状況の情報提供 →随時実施
- ③ 競技艇・コーチボート運搬に使用するトレーラー及び備品用具の維持管理及び貸与 →随時実施
- ④ 県連艇(競技艇、救助艇)の更新及び維持管理 →随時実施

### (5)大会等の開催、派遣事業及び育成強化等の競技力向上事業

#### ア. 競技会開催事業(年間レース日程の調整と決定)

#### ① 主催事業

県春期選手権、夏期オープン選手権(国体県予選)、会長杯、全日本チームレース→中止、ひろしまピースカップ→中止 (以上 5 大会)

#### レース等参加状況

事業名	参加艇数	参加選手等	運営スタッフ
県春期選手権	35艇	63名	18名

チームレースクリニック	主催者準備	選手28名、アンパイア6名	10名
夏期オープン	55艇	93名	35名
会長杯	36艇	76名	24名

## ② 共同主催及び事業協力

呉みなとまつりヨットレース→中止、県高校春期選手権、県高校総体、セールヒロシマ→中止、高校新人選手権、全日本OPチーム選手権大会→中止、県ジュニア選手権大会、鯛網ヨットレース→中止、レーザーミッドウィンター→中止、福山市長杯、仙酔島一周レース、因島水軍レース&因島市総体→中止、TOMOディンギーカップ→中止

## ③ 競技艇計測・登録

競技艇の年度登録実施、公式計測員養成のため計測講習会へ参加 →見送り

春の県連計測→中止

## ④ 国際競技規則の運用事業

チームレースクリニック、レースマネージメントクリニックの開催→実施せず、ルール講習会の開催→中止

## ⑤ ジャッジ養成、資格認定講習事業

ローカルレースオフィサー講習会の開催→(本年度は中止)

## イ. 派遣事業

① 大会役員、選手等派遣(国体、国体広島県選手団選考・派遣等) →(リハ国体、国体とも実施無いため派遣せず)

② 東京オリンピックへの競技役員派遣(JSAFの要請により)(7名参加)

## ウ. 強化事業、

① 三重国体目標得点 30点 中長期目標 30点 総合8位 国体中止

② 国体選手強化計画実施(県体協補助事業) JOCジュニアオリンピックカップ、全日本420選手権等大会他

③ 技術力向上のため、優秀なコーチを招聘 新型コロナウイルス感染拡大により中止

④ 日帰り練習会、県内合宿、県外合宿等の計画の立案と実施 上記②として随時実施

⑤ 選手の国内外の遠征申請 ②と連携の上随時実施

## (6)セーリングスポーツを通じて、国際交流の推進と関係団体との相互連携事業

① 海の祭典、図画展等への協力 →主催者が中止

② 国際ヨットラリー等の国際交流イベントへの参画と応援 →主催者が中止

## 2、『活動拠点収益事業』

(1)自動販売機売上事業 →随時実施

(2)親水公園清掃事業 →随時実施

## 3、『会員向け事業』

(1)JSAF、HSAF 会員が、楽しく、また生涯スポーツとして永くセーリング活動ができる支援事業

① メンバーミーティングの開催、会報の発行、ホームページの刷新とフェイスブックなどの管理

→今年度より、県連会報の発行を中止し、ホームページを主体とした広報活動を展開。

今回は東京オリンピック大会のセーリング競技運営に携わった県連スタッフ記録を特集とした。ホームページにはバナー広告を掲載し協賛広告費収入を計上。

- ② JSAF会員登録、団体登録、バッジテスト認定登録、小安協などの諸手続き →随時実施
- ③ 表彰、感謝状の贈呈(県・市体協表彰推薦等) →随時実施
- ④ 資格取得希望者に研修会、講習会への参加を促し資格の取得推進→随時実施
- ⑤ コンプライアンス委員会の設立準備、研究と研修会の実施と参加→随時実施

## (2)施設等整備推進プロジェクト

- ① 新艇庫の建設及び既存施設の改修に伴う準備 →既存艇庫移設工事完了、新艇庫建設開始
- ② 親水緑地公園と空港跡地の活用と整備について調査研究及び提言 →県庁港湾課と調整中
- ③ (仮称)「2022 新艇庫の完成に伴う記念事業に関する実行委員会」の立ち上げの準備委員会の設置  
→準備委員会を立ち上げアジアパシフィックチャンピオンシップの誘致決定

## 4、『法人会計』

上記の1～3の事業の円滑なる運営事業

→随時実施